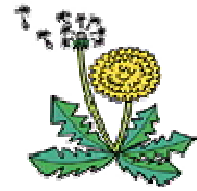


【誰もが「生きていてよかった」といえる街づくり】

ぽぽだより

(特活)NPO ぽぽハウス ~ 居宅介護支援(ケアマネージメント)・訪問介護(ヘルパー)
 ひろば事業(高齢者デイサービス・児童デイサービス・キッズルーム・ぽぽキッズくらぶ)
 児童デイサービス「はばたき」
 子育て支援事業(ハピネスあそびひろば・ぽぽあそび隊・むぎゅむぎゅタイム)
 彦根市委託事業...すくすく教室・のびのび教室)
 彦根市北老人福祉センターハピネスひこね指定管理



【HP版】 118 2012年3月25日発行



発行 特定非営利活動法人 NPO ぽぽハウス
 〒522-0043 彦根市小泉町 300-9 サンロードビル 2F
 (TEL)0749-27-9777 ・ 21-0664 (FAX) 21-0665
 E-mail popohouse@nifty.com ホームページ <http://www.popo-house.jp/>



3月13日
 ぽぽキッズくらぶ お祝い会



3月17・20日
 高等部(17日) 小・中学(20日)
 卒業おめでとう会
 (日中一時支援集団活動プログラム)

おめでとう!
 巣立ちの春



ぽぽハウス限定(!?)の
 おひなさまです

春が、すぐそこまで!

12月にぽぽキッズくらぶの
 子どもたちが水栽培した
 ヒヤシンス。
 やっと花が咲いて、いい香り
 もしていました。



今月の中面・・・2012年度事業報告
 「子どものケア」のアドバイス事業
 ぽぽあそび隊
 「すくすく教室」「のびのび教室」

2012年度
 特定非営利活動法人 NPO ぽぽハウス定期総会のおしらせ

日時:5月20日(日) 場所:彦根市北老人福祉センターハピネスひこね
 会員の方には、別途案内をいたします。

「編集後記」3月というのに、寒い日が続いています。しかも、県立高校入試の日や卒業式といった節目の日に限って雨やら雪やらの天気になっているようです。新しい世界へ巣立つ子どもたちの心の中は、希望だけでなく不安もいっぱい。そんな日は、おひさまが明るく照らしてくれる方がありがたいのですが・・・。(P)

「子ども未来基金」助成事業



「子どものケア」の アドバイス事業

今回、「子どものケア&アドバイス隊」として活動することになり、子育てについても再度勉強し直しました。今は多くの情報があふれ、若いお母さん方もいろいろな情報が入ってくる中で惑わされ、悩んでいる人も多いと思います。

活動している中でよく聞いた悩みとしては、夜泣きや昼寝、断乳や離乳食などの生活についての内容や、予防接種についてのことが多くありました。お母さん方は、こちらから話しかけることによって何らかの悩みを話してくださいました。

それらに対し、看護師として個々にアドバイスをしたのですが、こちらが一般的な内容で話をするよりも、その場にいらしゃったほかのお母さんにも話しかけてみると、みなさん同じような経験をされていて、それが安心につながったり、またそこから話が広がったりすることもありました。そして、その話の中から必要に応じて看護師としてのアドバイスを加えるようにしました。

現代の医療は日々新しくなり、対応も変化しています。その中で少しでも安心して子育てができるように、今後もできる限りのお手伝いをしていきたいと思っています。(岡本)



～ 子どもにかかわる事業 この1年 ～



いっぱい あそんだね！ ぽぽあそび隊!!

2011年度、「ぽぽあそび隊」の活動が3月5日、無事終了しました。これは子育て支援部が2歳児親子を対象に行っている活動です。

近年、幼稚園での3年保育が増えてきた中で集団生活に入る前にしっかり親子でふれあい、あそぶことで子どもたちはとても成長し安心感を得ることが出来ます。

昨年の4月にはじまったころは、まだまだ幼い子どもたちでした。春のお散歩に始まり、夏には水あそび、秋には子どもセンターで木の実を捜したり、冬には南地区公民館でお母さんやおばあちゃんと体を使って思いきりあそびました。

1年経ち、子どもたちは自分からお友達を意識した様子が数多く見られるようになってきました。子どもたちの育ちをゆっくり待ち、温かく見守る保護者の方々と共有できた時間はとても貴重なものでした。

この春からそれぞれ新しい生活が始まりますが、みんなが笑顔いっぱいのスタートを迎えられますように願っています。(手原)



彦根市委託事業

2011年度

「すくすく教室」 「のびのび教室」

2011年度の「すくすく教室」「のびのび教室」の10回の講座が、3月に終了しました。

この講座は家庭教育力の推進と向上を目的として開催され、他公民館ではすくすく・のびのび1クラスずつの講座ですが、今年度もぽぽハウス担当の南地区公民館は、学齢別に2クラスずつの開催で、「五感を育む」をテーマに講座を計画しました。乳幼児期は、生まれが1年違うだけで子どもの育ちがかなり違い、それぞれの発達段階に合わせた内容できめ細かく開催することが大切だという考えからです。

「すくすく教室」0～1歳・1～2歳の保護者への講座内容は、ふれあいあそび・散歩・絵本について・おもちゃの制作など、子どもと日々ふれあうときのヒントになる内容から育ちについての理解や感染症などの子育ての知識など、幅広い内容で「赤ちゃん期」のお母さんたちに知っていただきたいことを講座としました。

「のびのび教室」2～3歳・3～4歳児の保護者へは、ボールやマットを使った簡単な運動が、体の発育に必要であることや、親子で調理をし、この年代に必要な食生活の講義などの講座を取り入れました。特に、戸外で自然物(木の実や落ち葉など)を集め(10月)、それを使って親子で品物をつくり(11月)、おみせやさんごっこ のやりとりを楽しむ(12月)という3ヶ月連続した活動では、お友達を意識し、つながってあそぶ(活動する)ことの楽しさ、大切さをお母さん方にも子どもたちにも感じていただけたかと思えます。

1年間のこの講座を通して毎年のように感じることは、受講者である保護者の方の、親としての成長です。子どもへの向きあい方を感じ取り、自信をつけていくことで、子どもさんの表情が明るくなり、さらに親子で成長していける、そんな講座づくりを心がけて受講者さんのサポートをしてきた。スタッフとして若いお母さん方とまだまだ幼い子どもたちに接し、自分自身も改めて「親子」というものを考える機会になりました。(安河内)